

科目区分	専門分野	履修学年	2年後期	単位数	1	時間数	30
科目名	地域・在宅看護方法Ⅱ			担当教員	専任教員		
使用テキスト	1) メディカ出版 在宅看護論 ①地域療養を支えるケア 2) メディカ出版 在宅看護論 ②在宅療養を支える技術						
テキスト以外の教材・参考書等	1) 医学書院 専門分野 基礎 地域・在宅看護論 地域・在宅看護の基盤 2) 医学書院 専門分野 基礎 地域・在宅看護論 地域・在宅看護の実際 3) メディックメディア 写真でわかる訪問看護アドバンス						
授業の概要及び到達目標							
<p><u>授業の概要</u></p> <p>在宅療養者に対する看護介入について理解できるようにする。事例をもとに考え、グループワークや発表を取り入れることで、様々な考えから在宅看護の展開について考えられるようにする。</p> <p><u>到達目標</u></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 在宅看護過程の展開のポイントを理解できる。</li> <li>2. 在宅療養者の看護の展開方法を習得できる。</li> <li>3. 事例を通じ、在宅看護に必要な判断能力が養える。</li> </ol>							
評価方法	演習評価（レポート、参加状況、発表）						
備考	関連科目：基礎看護学, 人間関係論, 地域・在宅看護概論, 地域・在宅看護技術, 地域・在宅看護方法Ⅰ						

回数	授業計画 学習内容	備考
1	在宅看護過程のポイント	
2	在宅看護の展開方法	
3	在宅看護介入時別の特徴	
4	・準備期から安定期 ・終末期	
5	障害をもつ療養者とその家族の在宅看護の特徴	
6	事例を用いた看護過程の展開	グループワーク 発表
7	①脳梗塞	
8	②パーキンソン	
9	③ALS	
9	④認知症	
10	⑤終末期	
10	グループに分かれ1事例の展開を行う	
11	グループごとに事例の看護展開の発表、意見交換	
12		
13		
14		
15		